

光の贈りもの

献眼で、あなたにもできます

2023 December

あなたの善意を
待っている人がいます

黒柳徹子

黒柳徹子

献眼者ご芳名

令和4年4月から令和5年8月31日まで

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和4年4月	堀 節男 様	高岡市
4月	松田 昭吉 様	黒部市
4月	匿名 希 望	滑川市
5月	匿名 希 望	滑川市
6月	長谷川笑子 様	富山市
6月	内山 寿子 様	富山市
7月	高田 眞 様	富山市
7月	安達 弘章 様	舟橋村
8月	堀田 和雄 様	上市町
9月	境 貞雄 様	砺波市
9月	村田 淳 様	上市町
11月	高井 芳樹 様	上市町
11月	島村宗一郎 様	高岡市
令和5年1月	進藤 秀男 様	高岡市
1月	飛島 いく 様	黒部市
2月	横山 善一 様	南砺市
2月	太田 光昭 様	黒部市
2月	高野 繁雄 様	富山市
3月	清野 淳司 様	富山市
6月	川尻 齐 様	富山市
6月	前吉 洋志 様	射水市
6月	網谷 安洋 様	富山市
8月	勘坂 清治 様	高岡市
8月	大澤美代子 様	魚津市

謹んで哀悼の意を表します

厚生労働大臣感謝状授与式につきましては、10月26日に行いました。

令和4年4月から令和5年3月まで献眼いただいた24名のご遺族様へ改めまして、ここに御礼申し上げます。

理事長就任のご挨拶



公益財団法人富山県アイバンク理事長

木村 正明

公益財団法人富山県アイバンクの理事長就任にあたり、この責任ある役割を拝命し、深く感謝申し上げますとともに、大変光栄に思っております。

富山県アイバンクは、献眼してくださる方と移植を待っている方の橋渡しを行っている団体です。つまり角膜移植のための角膜提供者の募集や登録、角膜の採取や保存、角膜の配分や移植手術の支援など、多岐にわたる活動を行っています。

目の病気で苦しむ方々や角膜移植を待ち望む方々に思いを馳せ、亡くなられた方のご遺族のご理解やご遺志により角膜移植をされた方々に対して、最大限の敬意と感謝の気持ちを表明いたします。

その思いを胸に、公益財団法人富山県アイバンクの理事長として、私は次のことに傾注していきたいと考えております。

第一に、富山県内で献眼登録者を増やすことです。現在、富山県では年間約20の方が角膜提供をされていますが、それでもまだ足りません。角膜移植を必要とする方は、全国で約1万人以上おられますが、提供者数は年間約1,500人程度です。このギャップを埋めるためには、一人でも多くの方に角膜提供の意思表示をしていただくことが必要です。富山県アイバンクとして、積極的に啓発活動や教育活動を行い、角膜提供の重要性や意義を広く伝えていきたいと思っております。

第二に、富山県では年間約30件(お一人の献眼により、お二人の方が移植手術を受けられます)の角膜移植手術が行われていますが、それでもまだ不十分です。角膜移植手術は高度な技術と経験が必要な手術です。富山県アイバンクとして、角膜移植手術に関する研修や研究を支援し、医師や施設のネットワークを強化するために、様々な支援をしていきたいと思っております。

第三に、富山県内で角膜提供者や移植者のフォローアップ体制を充実させることです。現在、富山県内では角膜提供者や移植者に対するアフターケアやサポートが十分ではありません。角膜提供者のご遺族は喪失感や孤独感に苛まれたり、移植者は移植後の経過や生活に不安や困難を感じる場合があります。これらの方々に寄り添い、心理的なケアや情報提供などのサービスを提供していきたいと思っております。

最後に、公益財団法人富山県アイバンクは、目の病気で苦しむ方々やそのご家族に希望と光を届けることを使命としています。一人でも多くの方に視力を獲得していただきたい。私は、この使命と目標に沿って、スタッフや関係者と協力して、角膜移植の普及と発展に微力ながら誠心誠意努めてまいります。

どうぞ、皆様のご理解とご協力ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

常務理事就任の挨拶にかえて



公益財団法人富山県アイバンク常務理事

燕昇司信夫

私は目・眼について基本的な知識もなし、与えられ「光」の恩恵を76年間受け続けている。日常生活で私たちの情報はよく五感から得ていると言われる。視覚83%、聴覚11%、嗅覚3.5%、触覚1.5%、味覚1%という統計がある。先天盲は日本人で1,118人に1人とも言われている。現在私は糖尿病を患っているが糖尿病患者の約20%が失明するとも言われる。

さて、漢和辞典【漢語林】で目に関する部首を調べると75文字、目に関する語彙25、眼に関する語彙14であった。

語彙の中で“目・眼”を使用した小説を思いだした。それは谷崎潤一郎著「春琴抄」の佐助が春琴の「美しさ」を脳裏に永遠に刻むため自らの眼に針を刺して失明する。盲目の愛…

美しさも変化する瞬時がある、心の洗濯をする為に松太枝浜海岸清掃を毎週水曜日に行っている。立山連峰・海と日の出のコラボレーションの風景が微妙に違いを見せる。眼から入る「光」の情報が違うからだろう。

【色と光】印刷物 C75% (シアン)、M68% (マゼンタ)、Y67% (イエロー)、K89% (黒・墨)、この%は黒色を表す。

色を認識する仕組みは、「光」の反射で色を認識している。

レッド・グリーン・ブルーの3つの光は、それぞれ波長が違うので、反射する条件が違います。リンゴを「赤い」と認識できるのは、3色の光のうち、レッドが主に反射されているからです。ちなみに、全ての光を均等に反射した場合、白色と認識され、全ての光を吸収した場合、黒色と認識されます。

16進数カラーコードについて例えば白色は#ffffff、黒色は#000000と表現されます。16の6乗=1677万7216色まで扱うことができます。

着物の仕事では、例えば春の「紅梅色」夏の「葵色」秋の「藍」冬の「枯野」その他、国の天然記念物「とき色」もよく言葉で表します。コード番号は不要、語彙で何百色を共有する世界でした。

献眼者ご遺族の手記

2023年に父・進藤秀男が献眼

献眼者の
息子さんから

進藤 武

01



▲仕事で忙しい父でしたが毎年家族旅行に連れて行ってくれた思い出の一枚です

本当によかった。

父の意思がかなえられて、

「白内障の目でもいいのなら、献眼してもつかえんよ（いいよ）。使えるもんはつかったらいい。」と父が言ったのは、家族が集まっていた日のことでした。

看護師の嫁が移植を行うには自分の思いを家族と話してあることが大事なのだ、一人でも反対したらできないのだと話してくれた時に、父がさりと言った言葉でした。その時、自分は父本人が献眼提供の意思があるのならその通りにしてあげたいと思い、同時に具体的にどうしたらいいかをその時は知りませんでしたので、この意思をかなえるにはどうしたらいいのかなと思いました。この時、弟も居合わせていたので、「おやじがそうしたいのなら」と母と共に同意し、麻痺で動きづらい手で保険証に自分でサインをする父を見守ったことを今でも覚えています。

2023年1月父が亡くなり病院でアイバンクに連絡をしてくれて、翌日アイバンクの方が自宅に来られまし

た。丁寧な説明を聞き、父の意思をみんなが合意していたのでスムーズにサインをして、父の献眼の意思をかなえることができ、よかったなと思いました。献眼後の父の顔を見て、ほっとしたのを覚えています。母や甥・姪（孫）は「仏様のような顔になった」「じいちゃん最後にいいことした、すげー」と言っていました。後日、無事移植が行われたことを聞き、父の意思がかなえられて、本人の思い通り、人の役に立って本当によかったと思いました。

今回の件を通し、私にとって移植はより身近なものとなりました。日本では本人だけでなく、家族の同意も必要のだと知りました。自分も移植の意思を表示し、家族にもきちんと話しておこうと思います。そして、もっとシンプルに、海外のように、本人の意思が尊重される世の中になればいいと思いました。



入善
ライオンズクラブ

会長 森島 寿

献眼登録活動について



▲ハートの風船は子供たちに大人気



▲献眼・献血のよびかけ

入善ライオンズクラブでは、例年商工会主催イベントの際に献眼登録とアイバンクのPR活動を行っております。又、会員や家族で献眼登録をされておられる方がたくさんおられ会員内でも献眼登録をPRしております。

日本で初めての角膜移植手術を受けられた14歳の少女の詩を紹介します。

「ほんとうにありがとう」

うれしかったのは12才のとき「角膜の手術をすれば見えるようになる」といわれたこと

そして手術後 はじめて母の顔が見えたとき
涙がとまりませんでした

先生は「それうれし涙だよ」と

病院の窓から一日中盛岡の町なみをみていました

それは何もかも光り輝いて紅葉も、青い空も、雲も、街ゆく人たちも、すべてが新しい感動でした
眼をくださった方、先生、ほんとうにありがとうございました

見知らぬ人の人生に光を与えること、なんて素晴らしいことでしょう。

この詩を読んだとき、今日まで先輩方がアイバンクへ支援されてきた思いに共感致しました。

ライオンズクラブの大切な奉仕活動の一つとして、献眼登録の活動を活発に積極的に推進していきたいと思っております。



高岡アラート
ライオンズクラブ

会長 中村 清志

献眼登録活動の使命



▲大型商業施設での啓発活動

今年度、高岡アラートライオンズクラブは結成から10年を迎えました。家族会員を含め48名がライオンズ活動に想いをよせ、アクティビティの重点目標の一つを会員全員献眼登録といたしました。100%登録から今は87.5%となり、改めて全員登録を推し進めることとした。

登録減少の要因は、どのクラブでもあることですが、会員退会は必然的であり、登録者の減ではない。しかし新会員入会に於いて、畢竟献眼登録の説明不足と怠慢からライオンズクラブ会員でありながら趣旨を理解していないことが原因であると考える。スポンサーは意識的に登録を促す努力が必要である。10周年を迎えるにあたり緊禪一番、献眼登録減少に歯止めを掛けたい。

日本にライオンズクラブが結成されなかった時期、1944年4月にアメリカ・ニューヨークに世界初のアイバンクが設立され、ニューヨークのライオンズクラブは角膜斡旋の活動を展開。その後、アメリカ

の5つのクラブがアイバンクのパンフレットを作って全米のクラブに呼び掛けた。

献眼登録啓蒙活動を行うにあたり、四献活動の一環と考え、献血と献眼登録啓蒙活動を同時に行えば一石二鳥の効果が得ることができる。

2023年9月18日(祝)にクラブ員18名がパンフレット配布と献眼登録の説明を行った。場所はイオンモール高岡、まだまだコロナ禍が収まらないにもかかわらず数名の方の登録を受け付けることができた。しかし、パンフレット配布だが、一瞥するだけで受け取る人は少ない。

献眼登録のお願いで、「献眼とは」を理解して頂く時、少ない会話の一言、一言にその方の考え方を感ずることができた。宗教観・人生観・眷属愛等々が微妙に絡まっているのである。最後にフランスの哲学者の言葉に「人は皆、他者の恩恵を受けており、そんな他者に対して無限の責任を負っている」ことを忘れず惻隱の心でウィ・サーブ。



院内移植コーディネーター委嘱状交付式 院内移植コーディネーター連絡会が開催されました

去る4月25日、富山県民会館において富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式が開催され、アイバンク相談役の中川忠昭氏、渡辺守人氏、両富山県議会議員にご臨席いただき、木村常務理事・井沢事務局員・片境事務局員・岡田事務局員が参加しました。「臓器移植院内コーディネーター」は、臓器移植が円滑に進むように、臓器を提供する人とそのご家族様などとの連絡や調整をす

る大切な役割を担います。

県は、2006年度から1年の任期を設けて毎年委嘱しており、県内22の医療機関に勤務する看護師など63人に委嘱状が渡されました。

その後、第1回院内移植コーディネーター連絡会が開催され、「献眼について～連絡から摘出までの流れ～」について事務局片境がミニ発表をさせていただきました。



Information

3月17日(金)開催しました

「アイバンク協会認定サポーター講習会」

3月17日(金)富山県民会館8階バンケットホールにて「アイバンク協会認定サポーター講習会」を開催いたしました。(アイバンク協会認定サポーター制度とは、アイバンク業務を補助するアイバンクサポーターの認定と役割を定め、角膜等の移植の推進に貢献することを目的としております。)

新型コロナウイルス感染症拡大により延期と

なっていた富山県では、去る2017年3月に講習会を開催して以来、5年振りの開催となりました。講師には日本アイバンク協会常務理事の西田輝夫先生をお迎えし、「角膜移植とアイバンク活動について」ご講演していただきました。各ライオンズクラブメンバー様・富山県院内コーディネーター様の79名の方々にご参加していただきました。

主催 公益財団法人日本アイバンク協会／公益財団法人富山県アイバンク 共催 富山県ライオンズクラブ奉仕銀行 後援 富山県

ご芳志ありがとうございました

寄付者 | ご芳名

令和4年4月～令和5年3月

一般		個人		敬称略 単位：円	
高田 順一	3,000,000	畠山 志郎	20,000	島村延見子	5,000
笠島 學	500,000	森 弘	20,000	堀 壽夫	5,000
田谷 睦己	200,000	磯野 敏雄	10,000	伊藤 光雄	3,000
木村 正明	120,000	大浦 均	10,000	川村 豊子	3,000
高瀬 清春	110,000	神嶋 利夫	10,000	熊本 新一	3,000
田保 雅由	100,000	河本 隆	10,000	辻 美代子	3,000
牧 亨	100,000	椎名 久子	10,000	中井 盛博	3,000
屋根 愼二	60,000	中尾 順一	10,000	村本 勝夫	3,000
西田 勇	30,000	野村 健造	10,000	矢郷 大志	3,000
野村 謹吉	30,000	舛谷 専一	10,000	山岸 絹代	3,000
筏井 晴夫	20,000	村上 果	10,000	脇本 久雄	3,000
小寺 千春	20,000	藤卷 篤子	9,000	門前 昌志	1,500
豊田 耕一	20,000	小川 季子	5,000		

一般		法人・団体		敬称略 単位：円	
株式会社北陸電設	200,000	日商建材株式会社	20,000		
防災電設株式会社	100,000	株式会社アルト	10,000		
株式会社広野	50,000	斉藤眼科医院	3,000		

ライオンズクラブ関係		敬称略 単位：円	
富山みなとライオンズクラブ	42,000	高岡アラートライオンズクラブ	10,000
富山神通ライオンズクラブ	80,000	2R2Zライオンズクラブ	80,000
滑川ライオンズクラブ	120,000	新湊ライオンズクラブ	35,000

賛助会員 | ご芳名

令和4年4月～令和5年3月

個人会員						敬称略	
石田ひとみ	小沢 正康	作村佐智子	豊田 葉子	林 貴文	森 弘		
一川 順彦	片口 尚志	篠田 和男	鳥崎 真人	針山 健史	森田 嘉樹		
伊藤 光雄	片山 寿夫	清水 英子	鳥山 博	廣瀬 利行	山尾 佳史		
今井 幹雄	金井 澄子	杉本喜久子	中川 伸一	藤記 尚子	山崎 和子		
今村 知代	鎌谷 克彦	冏師 真弓	中川 正人	藤塚由紀子	山崎 泰邦		
植田 芳樹	上山 恵巳	高柳 昇	長田 雅子	藤卷 篤子	山崎与四之		
上野 弘喜	狩野 俊哉	竹本 毅	中村 孝子	堀 巖	山下 泉		
梅田 清一	河原 知昭	竹本 福志	中山 貴弘	増井 修	山下 陽子		
大浦 均	刑部 郁子	館 奈保子	波岡 一子	松倉 正機	米山 六博		
太田 茂	串田 正二	田中由美子	新田 正昭	水野 敏博	若森 征雄		
大田 妙子	久保啓二郎	谷口 保孝	野尻津喜夫	道原 英克	渡邊 一三		
大塚 光哉	黒崎 春久	土田 豊	野村 賢政	宮腰 晃央			
大庭 知子	斉藤 周子	寺井 仁	長谷川修博	宮島 清			
奥原喜代司	齊藤 讓一	戸澤 秀行	林 篤志	毛利 良子			

株式会社岩黒製作所
 株式会社押田建築設計事務所
 久保毅税理士事務所
 株式会社黒東アメニティ公社
 サンユウセキュリティ株式会社
 株式会社すがの印刷
 株式会社セイアグリーシステム
 高瀬公認会計士事務所
 東光運輸株式会社
 株式会社富山県義肢製作所
 富山スガキ株式会社
 医療法人紫蘭会光ヶ丘病院

平田眼科医院
 株式会社広野
 富源商事株式会社
 株式会社藤井産業
 株式会社北陸エンジニアプラスチック
 北陸バンドー株式会社
 有限会社舩谷解体工業
 丸進商事株式会社
 株式会社丸八
 ミユキ化成株式会社
 有限会社北高運輸

滑川ライオンズクラブ
 高岡フラワーライオンズクラブ

となみセントラルライオンズクラブ

募金ありがとうございました

募金者 | ご芳名

令和4年4月～令和5年3月

一般

敬称略 単位：円

富山県アイバンク設立30周年記念大会	105,433	認定サポーター講習会募金箱	2,570
片山眼科医院	6,934	第一イン新湊	2,086
丹保病院	6,097	株式会社アドプロ	1,610
医療法人社団ますだ眼科医院	3,806		

ライオンズクラブ関係

敬称略 単位：円

氷見ライオンズクラブ	41,816	高岡アラートライオンズクラブ	4,374
------------	--------	----------------	-------

当法人に頂きましたご寄付につきましては金額により、以下の税制上の免税措置を受けることができます。

- 個人で富山県に在住の方 個人所得税・個人住民税
- 個人で富山県外に在住の方 個人所得税
- 法人の方 法人所得税

詳しくは
 アイバンクへ
 お問い合わせ
 下さい

公益財団法人富山県アイバンク 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

公益事業1 眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行いました。本年度の新規献眼登録者数は、27名となりました。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

● 19名の方から提供をいただきました。

献眼月	年齢	性別	居住地
R 4 4月	80歳代	男性	高岡市
	90歳代	男性	黒部市
	60歳代	男性	滑川市
5月	80歳代	男性	滑川市
6月	90歳代	女性	富山市
	70歳代	女性	富山市
7月	90歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	舟橋村
8月	60歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	居住地
9月	70歳代	男性	砺波市
	50歳代	男性	上市町
11月	80歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	高岡市
R 5 1月	70歳代	男性	高岡市
	100歳代	女性	黒部市
2月	80歳代	男性	砺波市
	80歳代	男性	黒部市
	70歳代	男性	富山市
3月	40歳代	男性	富山市

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞奉読及び感謝状の伝達を行いました。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植の報告を行いました。
- 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき角膜・強膜のあっせんを行い25名の方に角膜移植を、113名の方に強膜移植が行われました。

② 移植希望者の募集および登録

● 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成しました。

(3) 普及啓発事業

① 医療従事者への啓発活動(令和4年4月1日～令和5年3月まで)

● 病院症例検討会を行いました。

富山県立中央病院
富山市民病院
厚生連高岡病院
高岡市民病院

② 医療従事者へのミニレクチャーを行いました。

- 6月12日 高岡市民病院にて「献眼の流れについて」と題し発表を行いました。
- 11月11日 富山県立中央病院にて「献眼について」と題しミニレクチャーを行いました。
- 11月15日 高岡市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 11月29日 済生会高岡病院にて「コロナ禍の献眼」と題し発表を行いました。
- 1月26日 富山市民病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。
- 3月13日 富山まちなか病院にて「献眼について」と題し発表を行いました。

③ 院内移植委員会等に参加しました。

- 市立砺波総合病院臓器・組織の移植に関する委員会に参加しました。
- 院内コーディネーター連絡会に参加しました。(R 4 / 4月・12月、R 5 / 3月)
- 10月21日 脳死下臓器提供に関わる関連団体の連絡会議に参加しました。
- 12月9日 富山県立中央病院にて臓器提供委員会に参加しました。
- 2月14日 富山市民病院にて臓器組織提供委員会(脳死判定委員会)に参加しました。
- 3月20日 厚生連高岡病院にて臓器提供委員会に参加しました。

④ 啓発活動の一環として講演を行いました。

- 5月18日 伏木ライオンズクラブ・新湊ライオンズクラブ合同例会にて「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
- 8月17日 氷見ライオンズクラブ例会にて

- 9月14日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
高岡アラートライオンズクラブ例会にて
- 12月5日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
富山昭和ライオンズクラブ例会にて
- 2月1日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
小杉ライオンズクラブ例会にて
- 2月15日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
富山みなとライオンズクラブ例会にて
- 3月8日 「ライオンズクラブと富山県アイバンク」についてのスライド発表を行いました。
富山東ライオンズクラブ例会にて

⑤一般県民への啓発活動

街頭での啓発活動

- 2月25日 入善ラーメン祭りにて献眼パンフレット・風船を配布

⑥その他

- 4月22日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席
- 6月12日 富山眼科集談会に出席(オンライン参加)
- 2月17日 日本アイバンク協会第2回統計情報委員会Web会議に出席
- 3月17日 日本アイバンク協会認定サポーター講習会を開催

●令和4年9月4日 前理事長・名誉理事の故高田眞氏を偲んで、オークスカナルパークホテル富山にてお別れの会が執り行われ、アイバンク関係者(役員・事務局)、ライオンズクラブメンバー等と数多くの方が参列されました。

公益事業 2 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 情報紙「アイバンク情報・NEWS LETTER」を月1回発行し、ホームページに掲載しました。
- (2) 富山県アイバンク設立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊(2,000部)、献眼者ご遺族及び富山県内ライオンズクラブ、県内関係者へ配布しました。
- (3) 広報誌「富山県アイバンクだより28号」を発刊(2,000部)、登録者及び県内関係機関に配布しました。

その他

- 6月8日 高瀬、石村両監事に「令和3年度事業報告及び決算報告」の監査を受けました。
- 6月14日 令和4年度第1回理事会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「定時評議員招集」について、第3号議案「アイバンク組織図」について、第4号議案「設立30周年記念式典」について承認されました。
- 6月30日 評議員会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び決算報告承認の件」、第2号議案「理事・監事任期満了に伴う理事選任承認の件」について第3号議案「アイバンク組織図」について第4号議案「設立30周年記念式典」について承認されました。
- 7月13日 令和4年度第2回理事会を開催し、第1号議案「アイバンク組織図」について、第2号議案「30周年記念式典の組織について」承認されました。
- 10月15日 富山県アイバンク設立30周年記念大会が開催されました。
- 2月25日 第44回全国アイバンク連絡協議会に事務局員がオンライン参加をしました。
- 3月3日 令和4年度理事会を開催し、第1号議案「令和4年度修正収支予算(案)承認の件」について、第2号議案「令和5年度事業計画(案)及び予算(案)承認の件」について、第3号議案「設立30周年記念大会決算報告承認の件」について、第4号議案「定例評議員委員会の招集の件」について承認されました。
- 3月9日 令和4年度評議委員会を開催し、第1号議案「令和3年度事業報告及び修正収支予算(案)」、第2号議案「令和4年度事業計画(案)」、第3号議案「設立30周年記念式典開催の件」について承認されました。

昨年より体制が変わりました

アイバンク事務局に連絡される場合は、**平日(月～金)午前9時～午後5時**です。

時間外になった場合は、大学病院の眼科医に電話が転送されてしまいますので

献眼以外の連絡にはご注意ください。

貸借対照表

令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	5,708,985	2,527,145	3,181,840
未収金	600,000	440,000	160,000
流動資産合計	6,308,985	2,967,145	3,341,840
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	65,000,000	65,000,000	0
基本財産合計(1)	65,000,000	65,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	4,906,768	4,906,768	0
減価償却引当資産	2,600,000	2,600,000	0
公益1事業に使用する機器整備資産取得資金	10,500,000	13,500,000	△ 3,000,000
マニュアル印刷事業引当資産	250,000	250,000	0
公益事業引当資産	0	0	0
記念事業引当資産	0	3,000,000	△ 3,000,000
あっせん事業引当資産	500,000	500,000	0
特定資産合計(2)	18,756,768	24,756,768	△ 6,000,000
(3)その他固定資産			
什器備品	2,998,009	505,369	2,492,640
電話加入権	169,538	169,538	0
その他固定資産合計(3)	3,167,547	674,907	2,492,640
固定資産合計(1)(2)(3)	86,924,315	90,431,675	△ 3,507,360
資産合計	93,233,300	93,398,820	△ 165,520
II 負債の部			
1.流動負債			
預り金	116,303	106,282	10,021
未払金	1,245,630	1,368,975	△ 123,345
流動負債合計	1,361,933	1,475,257	△ 113,324
2.固定負債			
退職給付引当金	4,079,661	4,079,661	0
固定負債合計	4,079,661	4,079,661	0
負債合計	5,441,594	5,554,918	△ 113,324
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	65,000,000	65,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	13,850,000	19,850,000	△ 6,000,000
正味財産合計	87,791,706	87,843,902	△ 52,196
負債及び正味財産合計	93,233,300	93,398,820	△ 165,520

公益財団法人富山県アイバンク 相談役・理事・監事名簿

令和5年12月1日現在 名誉顧問 1名・相談役 2名・理事 37名・監事 2名

役職	氏名	勤務先
名誉顧問	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役会長
相談役	中川 忠昭	富山県議会議員
相談役	渡辺 守人	富山県議会議員

役職	氏名	勤務先
理事長	木村 正明	株式会社木村経営会計事務所 代表取締役
副理事長	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所 所長
副理事長	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
常務理事	燕昇司信夫	
名誉理事	大黒 幸雄	
理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長・院長
理事	藤巻 篤子	木戸クリニック
理事	林 篤志	富山大学附属病院 病院長 富山大学医学部眼科 教授
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	有賀 玲子	富山県 厚生部長
理事	竹野 博和	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	新田 正昭	新田眼科医院 院長
理事	藤塚由紀子	元富山県消費者協会 事務局長
理事	宮本 眞弓	元富山医療福祉専門学校 副学校長
理事	筏井 晴夫	株式会社高嶋 顧問
理事	門前 昌志	阪神グループ グループ統括本部長 執行役員
理事	村上 浩司	北陸電気システム株式会社 代表取締役
理事	畠山 志郎	株式会社北陸電設 取締役部長
理事	苗加 康孝	有限会社苗加製作所 代表取締役社長
理事	高田 重信	富山市議会議員
理事	若井 聡志	有限会社サトシ建設 代表取締役
理事	窪田 一誠	株式会社ゴールデン・アグリ 代表
理事	筏井 哲治	高岡市議会議員
理事	渡邊 一三	株式会社渡辺板金工業 代表取締役
理事	片山 和行	株式会社北越 代表取締役会長
理事	河本 隆	株式会社河本ウインド 会長
理事	杉村 憲一	
理事	駒見 博信	城南商事株式会社 代表取締役
理事	清水 宏篤	有限会社しみず 代表取締役
理事	本田 繁	株式会社本田工務店 代表取締役
理事	山道 樹里	株式会社ビルト・プレイズ 代表取締役
理事	伊藤 光雄	イトウ重機工業株式会社 代表取締役
理事	米林 清一	有限会社ユアライフ総合保険 代表取締役
理事	岡崎 誠	株式会社オカザキ工業 代表取締役
理事	八嶋祐太郎	射水ケーブルネットワーク株式会社 代表取締役社長
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所 代表
監事	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役

公益財団法人富山県アイバンク 評議員名簿

令和5年12月1日現在 評議員 35名

氏名	勤務先
砂子阪和夫	株式会社砂子阪工業所 代表取締役
道井 秀樹	とやま市漁業協同組合 代表理事組合長
山森 峰克	山森建設株式会社 代表取締役
中井 盛博	株式会社サンコレクト 代表取締役
五百崎 平	いおぎ印刷株式会社 代表取締役
五十嵐 務	有限会社富山メディアワーク 取締役(県議会議員)
今井 節子	シーエスフィールド株式会社 代表取締役
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役
黒田 康二	ニコウ産業株式会社 代表取締役
藤田 淳一	有限会社シンワ電工 代表取締役
岡本 葉子	東京海上日動パートナーズ東海北陸提携代理店 代表
入坂 文一	株式会社入坂組 代表取締役
辻井 益雄	株式会社アプリコット 取締役会長
堀川 秀樹	あおばエステート株式会社 代表取締役
笨畑 孝生	有限会社テクニカ 代表取締役
前佛 栄一	有限会社トマトランド 代表取締役
菅野 寛二	株式会社すがの印刷 代表取締役
表寺 剛将	有限会社北日本新聞上市西部販売店 代表取締役
藤井 義成	藤井石油株式会社 代表取締役
柏原 京子	かしはら館 女将
高緑 勲	有限会社高緑自動車 代表取締役
由井 崇	由井崇司法書士事務所 代表
竹中 勝治	有限会社ビップアート 代表取締役
若森 征雄	若森商店 代表
北林 和正	社会福祉法人Q・O・L福祉会 理事長
林 真孝	有限会社北砺ビルサービス 代表取締役
橋本 隆一	橋本商会 代表
関 勝	行政書士関事務所 代表
毛利 克彦	株式会社あづまコンクリート工業 代表取締役
水越 正之	株式会社北陸エンジニアプラスチック 代表取締役
八嶋祐太郎	八嶋合名会社 代表取締役会長
荒谷 謙治	有限会社荒谷装飾 代表取締役
嶋田 仁司	日環計量管理株式会社 代表取締役
根尾まり子	有限会社マリー旅行社 代表取締役
長原 好成	公益財団法人富山県善意銀行 常務理事・事務局長

編集後記

「富山県アイバンクだより」の今年の表紙を飾るのは黒柳徹子さんです。タレントとして長くテレビで活躍され、この度その続編も刊行されるという『窓ぎわのトットちゃん』の著者でもあります。黒柳さんは今年90歳ですが、まことにお元気です。見習いたいものです。

さて、国内の献眼者数は2010年度の1,077人以後、半減していて2021年度は505人となりました。富山県も同様です。アイバンクの設立母体であるライオンズクラブの活動力の低下と軌を一にしています。院内コーディネーターの活躍で著しい減少をkarouじて防いでいますが、幸いなことに今年は活力のある60代の方が理事長に就任されました。

先日県議会初当選の若い議員にアイバンクのことを話したところ、献眼の登録方法を知らないというのでPR不足を実感しました。小学校で盲目体験の授業があったらと思うこの頃です。

PR部長 畠山志郎

第 29 号



富山県アイバンクだより

第29号/令和5年12月1日

発行 公益財団法人 富山県アイバンク
富山市杉谷2630 TEL 076-434-5710
発行人 木村 正明

**献眼は
登録していなくても
できます**

ご本人が拒否の意思を
示していない限り、
家族の同意で献眼できます
年齢制限はありません

献眼についてのお問い合わせは

公益財団法人 富山県アイバンク

TEL 076-434-5710

FAX 076-436-0146

E-mail info@toyama-eyebank.com

